豊岡演劇祭実行委員会事務局
2026.02.24 更新

豊岡演劇祭2026フリンジ【Showcase&Meeting】公募要項

［豊岡演劇祭2026フリンジ【Showcase&Meeting】の特徴］

1　一つの会場を複数団体でシェアするショーケース形式での公演
2　スタッフ（舞台監督・音響・照明・当日運営）は演劇祭が用意
3　公演期間中の宿泊は演劇祭が用意※演劇祭開催エリア外からの参加者が対象。
4　チケット売り上げは団体側に分配
5　演劇祭内で参加者が登壇するトーク等のプログラムを実施
6　フェスティバル関係者や劇場関係者等へ演目を紹介

【ショーケースから、ショーケース&ミーティングへ】
豊岡演劇祭フリンジ【ショーケース】は、コロナ禍において、上演中止のリスクも抱えながら表現へのハードルを下げるために設けられました。
「まず立ち上がれる場所をつくること」——
その役割は、いま一つの落ち着きを迎えています。

2026年、ショーケースは【ショーケース＆ミーティング】として歩みを進めます。
ここは、作品を上演する場所なだけではなく、上演によって生まれた問いや違和感を、観客や参加者同士の対話へとひらき、表現を次の関係へと手渡していく場としたいと思っています。
この部門では荒削りでも、未完成でも、不調和でも、いま必要なのは、完成度よりも、他者と出会い、言葉を交わし、関係を引き受けることだと考えています。
【ショーケース＆ミーティング】は、表現と人、人と人のあいだに、新たな回路を立ち上げる試みです。

豊岡演劇祭2026フリンジ【ショーケース&ミーティング】概要

●開催予定期間：2026年9月21日(月・祝)、22日(火・祝)、23日(水・祝)

●採択予定数　：4団体程度

●予定会場　　：豊岡ミリオン座（客席予定数約50席）

https://www.toyookamillionza.com/

【応募条件】

下記内容をすべて満たす団体および個人

(1) 座組み人数についての制限はありません。

ただし、演劇祭が用意する宿泊補助については1団体につき最大５名までとします。

(2) 上演時間は30分以内を目安とすること。

舞台の転換時間は5分程度（スタッフのサポートあり）を目安としてください。

(3) 企画運営・上演に関して、円滑なコミュニケーションが可能であること。

(4) 豊岡演劇祭実行委員会が設けるハラスメントガイドラインへの同意。

（ガイドラインについては、必要に応じて改訂されます。）

https://toyooka-theaterfestival.jp/wp-content/uploads/2024/03/harassment_prevention_guideline_20240401.pdf

【応募方法】

- 応募フォームは専用フォームを利用して行います。

  応募フォーム： https://forms.gle/xuiGfhxqAsTJhouD7

- フォームに入力する項目は要項末尾に記載しております。

【選考基準】　※応募者多数の場合のみ

応募資料をもとに企画性を考慮して、演劇祭事務局が総合的に審査します。

【サポート】

- スタッフ（舞台監督・音響・照明・当日運営）は演劇祭事務局が手配します。

- 音響・照明のオペレートは、基本的に事務局手配スタッフが担当いたします。複雑・精巧なオペレートを必要とする場合は、参加者でオペレーターをご用意ください。映像を使用する場合は機材、ケーブル、オペレーター等は参加者でご用意ください。
- 芸術文化観光専門職大学の学生による実習受け入れを行う可能性があります。オペレートについては実習生が担当する場合もあります。その場合もプロスタッフの監修の元に行います。
- 音響、照明プランについては演劇祭スタッフが行います。（音響は基本セッティング、照明は地あかりを基本とし、事前の打ち合わせを経てプランを作成します。）
- 劇中に使用するSEなどの音源は参加者にてご用意ください。
- 舞台上は基本素舞台ですが、置き道具等は持ち込み設置可能です。

- 公演期間中の宿泊は演劇祭が用意します。
  - １団体につき最大５人まで宿泊費を演劇祭が負担します。（６人目からは団体負担となります。）
  - 宿泊の用意は、演劇祭開催エリア外からの参加者が対象です。宿泊は団体内での相部屋です。（1団体につき人数に応じて1～2部屋を想定しております。）
- 広報は演劇祭事務局がサポートします。
  - 公式サイト・SNSでの広報は実行委員会が実施しますが、参加アーティスト・団体での集客・周知のご協力もお願いいたします。
- チケットの管理・販売は原則演劇祭事務局が行い、売上を団体に分配します。
- フェスティバル関係者や劇場関係者等へ演目を紹介します。
- 本番及びゲネプロにおいて、関係者観劇枠の確保(本番の場合は、3～5枠程度/1ステージ)をお願いしています。
- 受付エリアでの物販スペースを提供します。（販売スタッフは参加者にて配置をお願いします。）

- 参加団体向けの交流プログラムや参加プログラムを実施します(内容は検討中)。
  〈例〉
  ・演劇祭ミーティングスポットでのトークプログラム
  ・終演後劇場にて行う参加団体、演劇祭スタッフ、ゲスト(観客)を交えたイベント
  ・希望者向けのオンラインレクチャー(豊岡演劇祭とは何か、豊岡市の演劇の街づくりの取り組みについて、その他テクニカルや実務に関わること) 等

●ショーケース公募期間：2026年3月2日（月）～4月1日（水）午前9:00申込締切
[専用応募フォーム申込のみ受付]

●結果通知（予定）　　：2026年5月下旬までにメールにて連絡

●結果通知後の流れ　：担当者とオンラインを中心に個別調整
6月中旬ごろに参加アーティストの発表予定
※採択までのスケジュールは変更となる可能性がございます。予めご了承ください。

【想定スケジュール】※日程は前後する可能性があります。

＜顔合わせ＞ 採択決定後、6月上旬を目処にオンラインにて実施

＜事前打ち合わせ＞ 8月末および9月初旬にオンラインにてテクニカル打ち合わせを実施（締切日までに台本データ、稽古動画の提出をお願いします）

＜スケジュール＞

豊岡入り日	2026年9月18日（金）もしくは19日（土）
場当たり日	2026年9月19日（土）もしくは20日（日） 場当たり時間：1団体あたり90分程度を予定（休憩含む）
ゲネプロ日	2025年9月20日（日）
本番日	2025年9月21日（月・祝）～23日（水・祝）※3～4ステージ
チェックアウト	2025年9月23日（水）もしくは24日(木)

※すべての回でアフタートーク等を実施する可能性があります
※近隣会場の公演スケジュールにより、調整が入る可能性があります。
※滞在期間中に参加者向けのプログラムを実施予定です。（日程調整中）

【チケットに関して】

- チケット管理・販売は原則、豊岡演劇祭が行います。
  （補助金などを利用する場合は別途ご相談ください。）
- ショーケースチケット（前売り2,000円～3,000円を想定）を販売予定です。
  売り上げは販売手数料を引いた金額を参加団体で均等割します。
- 豊岡演劇祭パスポート（仮）による販売分があります。パスポート販売分の団体への配分については、詳細決定次第お知らせします。

【注意事項】

- 制作支援金、交通費の支給はありません。
- 演出効果として火気・水等を使用を希望する場合は予めご相談ください。
- 音響効果として既存の楽曲を使用される場合は、必要に応じて団体側にて著作権処理をお願いします。

【その他】

- ゲネプロ・本番での豊岡演劇祭関係者の観劇、およびゲネプロでの記録撮影へのご協力をお願いします。
- 可能な限り報道各社の取材にご協力ください。
- 応募や上演に関してのご質問は下記メールアドレスよりお問い合わせください。
  豊岡演劇祭実行委員会事務局 フリンジ担当
  fringe@toyooka-theaterfestival.jp

【フォーム記入内容】※予定

- 応募フォームの内容は下記の通りになります。
- アップロードするファイル（企画書、画像等）につきましては、必ずファイル名に団体／アーティスト名を含む形にしてください。

（1）豊岡演劇祭2026【ショーケース】参加への条件同意

（2）カンパニー基本情報

- カンパニー名
- 代表者名および担当者の氏名
- 記入者が代表者と異なる場合の氏名の記入
- 連絡先
- 活動開始年
- 活動拠点
- WebサイトURL

（3）公演を希望する企画について

- 企画タイトル
- 企画概要（簡単なあらすじ・演出プランなど）
- もしくは企画書の添付（PDF形式）
- 予定している座組の人数
- 水、火気及び特殊効果の使用予定

（4）活動履歴参考資料について

- 過去公演などの動画URL
- 上記URL内において動画の場合は「注目して欲しい時間帯」を指定してください（10分程度指定）
- 過去公演などの画像

（5）車両

（6）補助金利用の有無（有の場合は記載）

（7）備考（補足事項やご不明な点などございましたら、ご記入ください。）

（8）公募に関するアンケート

※フォームを送信するまで入力内容は保存されません。ご注意ください。